

長崎市に住む人、働く人、学ぶ人が互いに「顔見知り」になることを目的とした「井戸端パーティー」。
ホームページでさまざまな交流の場を紹介しています。

中央地域センター ☎829-1418

🔍 井戸端パーティー

ホームページ Instagram Facebook



井戸端パーティーを活用しているかたをご紹介します！

じゃいか
JICAデスク長崎 国際協力推進員 小田 智子さん



長崎と世界をつなぐ窓口

記事全文は上記ホームページで。

今回の井戸端peopleは小田智子さん。出前講座やパネル展の企画など、国際協力を身近に感じてもらう活動を行っています。

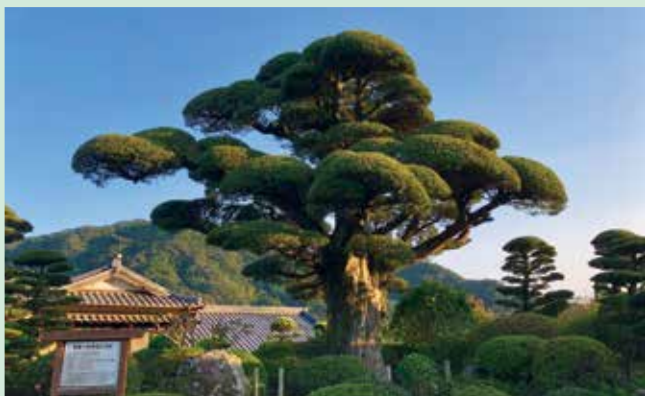
小田さんは「自分の視野を広げたい」と、海外協力隊に参加し、音楽教師として2年間パラグアイで活動。異国の地で暮らした経験から、「互いの違いを認め合い、理解すること」が大事だと気付いたそう。国際協力推進員として行っている出前講座では、協力隊での経験談や国際理解のワークショップを通して、世界に興味を持ってもらうことを大切にしているそうです。

日頃は、途上国での国際協力や協力隊に関する相談にも乗っています。「いろいろな人たちと関わり、つながりを作るのが大好き。これからも長崎と世界をつなぐお手伝いをしたい」と語ります。

JICAデスク長崎は2月17日(土)に、ココウォークで国際協力イベントを開催。ぜひお越しください。

わがまち 自慢 調査し隊

美しい植木や庭園で
風情あふれる
町並みだったよ！



お題

日本一のラカンマキ

中国商人との縁で贈られた木

古くから植木の産地として知られる古賀地区に、シンボリック的存在の「日本一のラカンマキ」があるよ。高さ約10メートルで、植木としてのラカンマキでは日本一の大きさなんだって。

1659年、ある中国商人が長崎に来る途中、沈没の危機に遭ったけど、観音さまに祈ったことで、無事に入港できたんだって。商人は古賀の近くにある「滝の観音」のおかげだと考え、お参りに通うようになり、隣の古賀にも植木を見に来ていたよ。そのご縁で古賀へ中国・浙江省のラカンマキが贈られたそう。

個人宅の赤瀬邸にあるこの木。詳しい場所は、植木センターにあるマップに書いてあるよ。鑑賞のための立ち入りはできるから、マップを持って古賀地区をお散歩してみてね！

まちの自慢を募集！

「広報ながさき」で紹介して欲しい、まちの自慢を募集しています。自薦・他薦は問いません。はがきか市ホームページでご応募ください。

